

入場
無料

事前申込制
(先着150名)



新視点!

茨城県内日本遺産認定3市連携フォーラム

日本遺産から知る 茨城の城

笠間市
笠間城

(笠間城跡 遠景)

水戸市
水戸城

(水戸城跡 大手門)

牛久市
牛久シャトー

(シャトー・カミヤ
旧醸造場施設)

画像提供: ワイン文化日本遺産協議会

令和8年

11月29日 日

13:30~16:00 (開場 13:00)

会場

茨城県立図書館 2階
視聴覚ホール
(茨城県水戸市三の丸1-5-38)

参加申込方法

申込専用フォームに必要事項(氏名、メールアドレス、電話番号)をご記入の上、お申し込みください。
1件のお申し込みにつき、最大4名の受付となります。

申込専用フォーム



申込受付期間

10月13日(火) ~ 11月24日(火)

※先着順での受付のため、定員になり次第受付を終了します。

茨城県内では、水戸市・笠間市・牛久市の3市の構成文化財から紡ぎ出されたストーリーが文化庁から日本遺産の認定を受けています。それぞれのストーリーには、城にまつわる文化財(水戸城・笠間城・牛久シャトー ※「シャトー」はフランス語で「城」を意味する)が含まれています。

本フォーラムでは、3市それぞれの“城”を取り上げ、日本遺産のストーリーにまつわる視点から紹介します。戦いの場や統治のシンボルだけではない、茨城の“城”の新たな楽しみ方を探ります。

主催 水戸市教育委員会

共催 笠間市教育委員会・牛久市・
教育遺産世界遺産登録推進協議会

お問合せ

水戸市教育委員会 歴史文化財課 世界遺産推進室
〒310-8610 茨城県水戸市中央1-4-1
TEL 029-306-8132 FAX 029-297-6187



報告内容

報告① 「学び舎となった城 ー近世水戸城と江戸の学びー」

水戸彰考館や弘道館が開設された水戸城は、水戸藩の役所であっただけではなく藩士が学ぶ場でもありました。水戸城を学び舎として捉え、そこで行われた学びをめぐる物語を紹介します。

藤井 達也 氏（水戸市教育委員会歴史文化財課）

報告② 「かさましこから見る笠間城 ー中世山城の痕跡を追うー」

焼き物の兄弟産地として知られる笠間と益子。中世はともに宇都宮氏の影響下にありました。中世笠間城の姿を、現地に残された痕跡をもとに紹介します。

額賀 大輔 氏（笠間市教育委員会生涯学習課）

報告③ 「なぜ牛久にシャトーが生まれたのか ー中世城館から近代牛久へー」

「城」を意味する「シャトー」の名を冠する牛久シャトー。明治36年（1903）に誕生した日本初の本格的ワイン醸造場と、中世から多くの城館が築かれた牛久の歴史をたどり、シャトー誕生へとつながる物語を紹介します。

木本 孝周 氏（牛久市環境経済部シャトー再生推進課）

会場アクセス



※駐車スペースに限りがあるので、当日は公共交通機関の利用へのご協力をお願いいたします
※本イベントに車でご来場される方は三の丸庁舎駐車場をご利用ください

関連する日本遺産ストーリー

水戸



弘道館正庁



近世日本の教育遺産群
～学ぶ心・礼節の本源～

笠間



久野陶園豆皿



かさましこ
～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～

牛久



牛久シャトー神谷傳兵衛記念館
画像提供: ワイン文化日本遺産協議会



日本ワイン140年史
～国産ブドウで醸造する和 문화の結晶～

特別展 近世日本の教育遺産群 ー泰平の御代の原点ー

平和な時代であった近世日本を学びの側面から支えた「教育遺産」について、その実像や学びの様相に注目して紹介します。

会期

令和8年10月24日(土)～11月29日(日)

会場

水戸市立博物館4階・3階展示室

※月曜及び11月24日(火)休館、11月23日(月)は開館
※開館時間は9時30分から16時45分

入場料

一般200円 ※各種割引あり

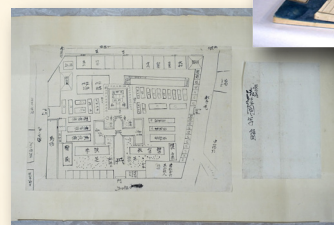
主催

水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20
TEL: 029-226-6521



大日本史
(水戸市立博物館所蔵)



弘道館図(水戸市立博物館所蔵)